



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和6年1月11日(木)		岐阜県発表資料	
担当課	担当係	担当者	電話番号
外国人活躍・共生社会推進課	多文化共生係	水野 智裕	内線 2562 直通 058-272-1483 FAX 058-278-2562

行政職員向け「やさしい日本語」研修会を開催します

「やさしい日本語」とは、普段の日本語を外国人が理解しやすいように言い換えた簡単な日本語のことであり、多くの日本人が「やさしい日本語」のスキルを身に付けることで、外国人を受け入れる日本人の意識変容を促すことが期待されています。また、地域での交流や災害時の対応がしやすくなることが期待され、令和6年能登半島地震に関連する情報発信においても、各地で活用されています。

このたび、県及び市町村職員向けに「やさしい日本語」を学ぶ研修会を開催しますのでお知らせします。

記

1 日時

令和6年1月16日(火) 13:30~15:30

2 場所

岐阜県庁20階 2003・2004会議室(岐阜市藪田南2-1-1)

※オンライン配信併用

3 内容

「外国人県民への情報伝達 ~その情報届いていますか?~」

講師: ^{あんどう}安藤 ^{いくみ}郁美(岐阜県日本語教育総括コーディネーター)

4 参加対象者(予定)

県及び市町村職員 130人

5 その他

取材を希望される方は、開催日前日までに外国人活躍・共生社会推進課までご連絡ください。

<参考>

1 「やさしい日本語」とは

- ・「やさしい日本語」は平成7年（1995年）の阪神・淡路大震災で外国人住民に情報が届かなかったという反省をもとに生まれたものです。発災直後の混乱の中でも速く、多くの人に正しく情報を伝えるためには、多言語化に加え外国人にも理解しやすい「やさしい日本語」での発信が有効であるという考えから、弘前大学社会言語学研究室が中心となって取り組みました。
- ・在住外国人の76%が「やさしい日本語」による情報発信を希望しているとの調査結果（※2018年東京都国際交流委員会調査結果）もあり、多国籍化が進む中、外国人への情報発信の有効な手段と考えられます。
- ・岐阜県では、令和5年6月時点で、外国人県民人口が65,000人を超え、過去最高となるなど、一定言語の通訳者を配置するだけでは対応しきれないケースが多く発生しています。また、外国人県民からの日本語での通報・相談も増加しています。こうした状況に対応するため、「日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」の一環として「やさしい日本語」の普及に取り組んでいます。外国人を受け入れる日本人側の意識醸成を促すことや、子ども、障がい者、高齢者に対する情報伝達においても有効であると考えられています。

2 外国人県民に対する日本語教育の取組み

岐阜県では、令和元年度から、「日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」において、すべての外国人県民が日常生活に必要な日本語を学べる環境を整備するため、次のような取組を進めています。

- （1）日本語教育総括コーディネーターを配置し、事業全体の方針作成や内容の調整を実施
- （2）教材やカリキュラムの作成、日本語教育人材の育成等を推進
- （3）市町村や企業に対し、運営費補助や専門家派遣などにより、地域日本語教室の開設を支援
- （4）「やさしい日本語」の普及啓発